



Rotary
関ロータークラブ

2017-18 年度国際ロータリーテーマ RI会長 イアン H.S. ライズリー
『ロータリー：変化をもたらす ROTARY: MAKING A DIFFERENCE』
2017-18 年度 関ロータークラブ会長 テーマ
『温故(50)知新』 52 代会長 後藤信介

■会長 後藤信介 ■副会長 土屋佳久 ■幹事 岩倉宏幸



D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT

本日のプログラム 第 2477 回例会 2017 年 10 月 3 日 (火)

「出席表彰」「健康診断」



ロータリー：
変化をもたらす

前例会の記録・第 2476 回 9 月 26 日(火)12:30

「定款・細則の一部改正」

「新会員スピーチ」 奥村敏教さん

◆開会点鐘

◆「我らの生業」斉唱

◆会長挨拶



本日の卓話は新会員スピーチという事で奥村敏教さんをお願いしています。後程宜しく願いします。そして、国際ロータリーでは 2016 年規定審議会が開催をされ 3 年に一度開催をされるそうですが、審議会で採択された事項を関ロータリーとして必要な事について、定款、細則の一部改正を行いますので、宜しくお願いします。さて、話は変わりますが 9 月 26 日は台風襲来の日と言われています。統計上、台風襲来の回数が最も多い日になっています。過去の台風襲来の日(9 月 26 日)の台風被害は 1954 年台風 15 号で青函連絡船洞爺丸が転覆し死者・行方不明者が 1151 名も出ました。この事故は世界の海難史上、タイタニック号遭難に次ぐ死者数を出した台風でした。1958 年の 9 月 26 日は狩野川台風で伊豆半島周辺に被害が出て死者行方不明が 1200 人余り出たそうです。また翌年の 1959 年には観測史上最大の台風といわれる伊勢湾台風が上陸し、死者行方不明が 5200 人余りだそうです。このように 9 月 26 日は大被害の発生した台風襲来の日です。今年の今日とは言われますと、この様に穏やかな天気ですが、9 月 9 日のマリアナ諸島で発生した台風 18 号「タリム」は日本列島に 5 回も上陸を繰り返しながら縦断し、9 月 18 日にサハリンで熱帯低気圧

に変わりました。

皆さんは台風 18 号が「タリム」という名前が付いていたのをご存知でしたでしょうか。何時も思うのですが台風の名前はどのように決めているのでしょうか。気象庁によると、毎年 1 月 1 日以後、最も早く発生した台風を第 1 号とし、以後台風の発生順に番号を付けているそうです。台風というのは日本固有の呼び方で、WMO による国際分類の定義では、日本の台風とは異なり、最大風速(1 分間平均)が 64 ノット以上のものをタイフーンと呼ぶそうです。まだ世界でもそれぞれの地方により呼び名が違うそうです。国際分類では、大西洋北部、太平洋北東部、太平洋北中部ではハリケーンと呼び、インド洋北部、インド洋南部、太平洋南部では、サイクロンと呼ぶそうです。日本では最大風速 17.2 メートル以上に発達したものを台風というそうですね。さて、過去最も被害が多かった伊勢湾台風の上陸時の中心気圧は 920hpa だったそうです。観測された最大風速は伊良湖の 55.3 メートルだとか。想像しただけで恐ろしいですね。この伊勢湾台風をご存じない方はメンバーの中でも半分ぐらいですかね？今年はまだまだ台風が発生すると思いますので、自然災害の怖さをあらためて考えさせられます。そして災害は何時やってくるか解りませんので非常用備品の点検、避難場所の確認をしておく和良好的と思います。さて最近はロケットマンによる襲撃に対してどのような備えをしたら良いか考えさせられる日々です。

◆委員会報告

◎出席委員会

委員 塚原清文

会員 51 名中 31 名出席 出席率 63.27%

◎ニコボックス委員会

委員 木村聡

会長・副会長・幹事の皆さん・・・本日のプログラムは 2 週に続き新会員スピーチです。更なるパワーアッ

プしたスピーチを期待しております。よろしくお願ひします。

酒井、長尾、三輪、木村、清水(善)、尾崎、林(昇)、西本の皆さん・・・本日は新入会員スピーチという事で限られた時間ですが思う存分お話し下さい。新会員らしい、はつらつとした、そして、清々しくかつ面白い、それでいて身になる素晴らしいスピーチを期待しております。よろしくお願ひします。

IGM 出席者の皆さん・・・9/19 に丸吉寿司さんでIGMが行われました。酒井R情報委員より、新会員のためのRC用語集の抜粋の資料の配布があり、基礎知識の説明がありました。その他よもやま話で花が咲き、楽しく有意義なひと時でした。ホストの岩本さん、美味しいお料理ありがとうございました。IGMN 報告はルーキーの塚原さんですのでご期待ください。

杉浦孝志さん・・・嫁さんにバースデーカードをありがとうございました。

岩本雅文さん・・・妻にバースデーカードをいただきました。いつも気に留めていただくことに感謝致します。

◆IGMの報告 報告者 塚原清文

日時：9月19日(火) 18:30 場所：丸吉寿司

ホスト：岩本雅文 リーダー・R情報：酒井泉

義務出席者：加藤照彦・酒向薫

特別出席者：加藤浩二・清水善光・酒向徳享・塚原清文

◆定款・細則の一部改正について、賛成多数で可決

◆新会員スピーチ 奥村敏致



私は、兄二人、第一人の奥村家の三男として昭和43年6月9日生まれ、満49歳です。地元の旭ヶ丘小学校を卒業し、旭ヶ丘中学に入学、卒業しました。ここまではごく普通の落ちこぼれとして義務教育を過ごしてきました。私は、本当に勉強をしませんでした。

私は、小学校の作文にも書きましたが、家業の奥村商店を継ぐと決めていて、子供ながらにスクラップ屋に学問などいらない、と勝手に決めつけて本当に遊んでばかりしていました。だから今本当に後悔し、また本当に苦労しています。私が家業を継ぎたいと思ったのは、三つ子の魂百までとか、子は親の背を見て育つ、などのことわざがあるように、私が生まれた時は家業がとても忙しく、私は生まれて間もなく叔母の家に1歳ぐらゐまで預けられ、その後は母親が運転する4トン車の助手席に大きな木箱を置いてその中で保育園に入るまで連れていたそうで

す。母親はよく、脳みそが固まる前にトラックで揺らされたから馬鹿になったんやわ、と冗談を言っていました。小学校の夏休みもアルバイトと言って仕事について行き、お小遣いをもらっていましたが、中学校の時には思春期ということや、同級生にくず屋とか、ぼて屋と言われてよくいじめられたこともあり、こんな仕事なんか絶対にやらん、と思うようになっていました。そんな中学3年の3学期、入退院を繰り返していた父が、白血病であり長くないと聞きました。当時、次男は高2、長男はあと1年で専門学校を卒業と、私は本当に遊んでばかりでしたので私立高校は行けたのですが、関商工の定時制に行き家業を手伝うことを選択しました。高校時代の4年間は学問という勉強はしませんでした。社会勉強はさせてもらいました。4年間の定時制課程を卒業し本格的に社会人となりました。当時はバブル真っ盛り、とは言っても忙しかった事は覚えています。特に何をしたともなく流されていただけに思います。母親いわく、儲かったらしいですが。私もその感覚はありましたが、それよりも夢や希望は、大きく膨らみました。私のビジョンの中で色々な構想が頭をよぎり、今から思えばだいぶムチャもしたし、無鉄砲に走ってきたように思います。とにかく自分の中でこうだと思ったことは、周りが賛同してくれなくて、反対されても、貫き通し、また責任も取ってきたつもりです。当時は先代から受け継いだ刃物関係の発生工場をメインに、一部、自動車部品や、弱電関係部品を製造するプレス会社さんから出るステンレスや、鉄スクラップを回収して、近場の問屋業者に収める右から左への仕事でした。ステンレスだけは商社を通して製鋼メーカーへ収めていました。取扱量もせいぜい300トン~400トンくらいと、装備も、4トン車が4台にリフトが1台で、旭ヶ丘中学校の東隣の100坪の土場に、傾きかけた小屋と、トラックスケールだけの個人経営でした。これでは埒があかんと思ひ、取扱量を増やして、商社を通し、製鋼メーカーへ直接売却できる問屋にならんとあかんと思ひ、関市を中心に金属スクラップが発生する工場を手あたり次第営業に回りました。今まであまり取り扱ったことのない品種や、取扱量の少ない品種にも積極的に営業を仕掛け、取扱量を増やすようにし、また量を増やすには大型トラックがいると思ひ、大型免許を取得し、中古車の8トン車を購入しました。そして問屋になるためには、大きいトラックスケールが必要です。当時は25トンのトラックスケールで長さも短かったため、60トンの大型10トンロングが計れるトラックスケールに変え、コンテナハウスの事務所も設置しました。そして今度は、鉄スクラップを積み替え保管す

る大型マグネットが必要になりました。通常は天井クレーンにマグネットを付けるのが常識でしたが、建屋ヤードなどなく、代わりに当時はまだ珍しかった0.7の重機ショベルの先端部に電気磁石を付けたハイキャブの特殊重機を導入しました。そして今度は、荷物を製鋼メーカーへ売り込むため、ステンレスで面識があつた三井物産金属原料、通称、三金原がある栄の三井ビルへ乗り込み、鉄スクラップの取引がしたいと、直談判しに行き、三井物産から執行役員として来ていた部長さんに、会わせてもらいましたが、助言をいただいて、見事に撃沈されました。しかし、結果的には、間接的に取引することになり、工場から発生するスクラップを大同特殊鋼へ納入することになりました。そして今度は、引き取りや、メーカーへ納入する10トン、大型トラックが必要になりました。取扱量も少しずつですが増え、またトヨタ系の取引先で、トラックを置いておくとベルトコンベヤーからスクラップが落ちてくる工場が2件あり、効率化をするため、これまた、当時は珍しかったスウェーデン製のコンテナ脱着車を購入しました。また減車をして、発生元から、最短で製鋼メーカーへ運べるようにもしました。そして今度は、いよいよ土場が手狭になり、と言うか、普通は業績が伸びて土場を移転するのですが、弊社は100坪の土地に色々と詰め込み過ぎて、首が回らなくなったため、現在の所在地、西田原へ土場を移設しました。おかげで敷地面積も広くなり、色々な事でゆとりもできたため、日中は引き取りや営業活動をして、夕方から出荷の準備をして、東海市の大同特殊鋼へ納品し、朝は9時ぐらいから、夜は10時～11時ぐらいまで頑張ったおかげで、今度は本当に業容も伸びていきました。そんな生活が7年～8年ぐらい続き、今度はさすがに私の体が壊れました。人は無理をすると弱い所にダメージが来るといいますが、私の場合は消化器系が弱く、食事不規則だったため、胃に穴が開き二十日間ぐらい入院しました。それからは、まだまだ道半ばですが、全速力で走ってきたのを、少しペースを落とし、選択と、集中ではないですが、出荷は備車に任せて、引き取りや、営業に専念する事にしました。今までは工場から発生するスクラップをメーカーへ収めるだけの仕事でしたが、おそらくこれからは産業のグローバル化や、為替要因で国内工場の海外移転による空洞化が進むことが予測されたため、工場から発生するスクラップ以外のスクラップを取り扱える様に、ギロチンや、プレス機のような加工機械を導入し老廃スクラップを取り扱える様にしないといけないと思い加工機械の導入に踏み切りましたが、さすがにこの時は社内でも、大分もめました。それもそのはず、

加工機械の金額もそれなりの金額でしたし、同じスクラップと言っても品種や発生元も違い、取り扱い方も違っていたからです。それでも何とか導入することとなりましたが、準備期間から導入までは3～4年くらいはかかったと思います。まず、どんな加工機を入れるのか、土場のレイアウトの関係上、第二ヤードも検討し、また仲のいい同業者を何社か視察、見学させてもらい、アドバイスもして頂きました。そして加工機を入れると発生元は、建設業、土木業や解体業者となるため近くのみぼしい所をピックアップしたり、持ち込みも想定したり、いろいろ問題は山積でした。ちょうどこの辺りぐらいから、中国を起因とした資源バブルと、輸出産業を始め製造業の活発な生産のおかげで、取扱量や、売り上げや利益も伸びたため会社を法人化しました。その1～2年後に、試行錯誤の上、加工機械導入となりました。リスクをしょって、これまた日本にまだ1台しか輸入されていないイタリア製の移動式ギロチン兼プレス機にしました。そして導入直後、世界中を震撼させたリーマンショックが起きました。取扱量はゆっくりと減っていきましたが、価格は一気に大暴落でした。しかし、結果的には弊社にとってこの出来事は追い風になりました。その約1年後に、中国による4兆元の財政出動や、アメリカのFRBによるQEで、アジア経済や世界経済もゆっくり持ち直し、スクラップ価格も先陣きって上昇しました。その後、震災による原発事故、超円高、止まらない空洞化がありましたが、ギリギリの所で加工機械を導入したおかげで、減った仕事以上に、今まで出来なかった分野の仕事が増えたおかげで、業績もよくなり、まだまだ大手同業者の足元にも及びませんが、複数の大手商社系金属部署を通して、大同特殊や愛知製鋼、姫路の山陽特殊鋼といった様な製鋼メーカーと取引が出来るようになり、今に至ります。

◆幹事報告

◎東海北陸道グループゴルフ会のご案内

日時：11月13日（月）10：00スタート

場所：各務原カントリー倶楽部

◎10月の例会予定表配布

◎10月のロータリーレート 1ドル：112円

次例会のご案内 10月17日（火） 12：30

「地区大会の報告」

担当：会長・幹事 ※10月10日は休会

例会：毎週火曜日12：30
例会場：岐阜県関市本町6-20 大垣共立銀行関支店2F
事務局：岐阜県関市平和通7-10-25 アメリア2F